

カンボジアの概況

- ・国・地域名： カンボジア王国 Kingdom of Cambodia
- ・面積： 181,035 平方キロメートル（日本の約2分の1弱）
- ・人口： 1,468 万人（2013 年、出所：カンボジア計画省統計局）
- ・首都： プノンペン（人口：168 万人（2013 年、出所：同上））
- ・言語： クメール語（97.05%） ほかに少数民族言語（2.26%）、ベトナム語（0.42%）等（2013 年、出所：同上）
- ・宗教： 仏教（97.9%） ほかにイスラム教（1.1%）、キリスト教（0.5%）等（2013 年、出所：同上）
- ・公用語： クメール語

基礎的経済指標 2014 年

- ・実質 GDP 成長率： 6.97（%）（備考：実質 GDP 成長率）推定値
 - ・名目 GDP 総額： 16.55（10 億ドル）（備考：名目 GDP 総額）推定値
 - ・一人当たりの名目 GDP： 1,080.82（ドル）（備考：一人当たりの名目 GDP）推定値
 - ・消費者物価上昇率： 3.85（%）（備考：消費者物価上昇率）推定値
 - ・輸出額： 10,738.40（100 万ドル）（備考：輸出額）通関ベース
 - ・対日輸出額： 701.17（100 万ドル）（備考：対日輸出額）通関ベース
 - ・輸入額： 17,505.80（100 万ドル）（備考：輸入額）通関ベース
 - ・対日輸入額： 279.36（100 万ドル）（備考：対日輸入額）通関ベース
 - ・外貨準備高： 5,626.01（100 万ドル）（備考：外貨準備高）金を除く
 - ・政策金利： 4.50（%）
 - ・対米ドル為替レート： 4,037.50（リエル）（備考：対米ドル為替レート）
- 期中平均値

出典：https://www.jetro.go.jp/world/asia/kh/basic_01.html

「バンコク」から「カンボジア プノンペン」へ向かう

バンコクから日帰りでカンボジア プノンペンへと向かう

目的は「イオンプノンペン視察」のため これだけで、航空運賃、交通費約 4 万円を使う
納得がいけないタクシー代金

空港からホテルまでは、タイプを含めて 300 バーツ

ホテルの「タクシー予約専用カウンター」で空港まで予約すると 500 バーツ

5 時の早朝だと +100 バーツであるという

結局、2 倍の 600 バーツを払うことになる

今回最初の「ナメないで欲しい」

早朝にもかかわらず空港は混雑

タイの空港は広く、移動に時間がかかる



こんな像



こんなものも



バンコクエアのラウンジで軽いスナック
奥の葉に包まれたものは、日本の「ちまき」によく似ている

プノンペンに向け出発



機内食
チキンのおんかけごはん、フルーツ、ココナツデザート
カンボジアには、ノービザで到着したので、ビザの取得が必要
写真とUS \$ 30を添えて専用カウンターに提出
前の外国人 5 人抜きでビザを出してくれた 日本のパスポートは強い
プノンペン空港の「ダイソン」のエアータオルに驚く やはりパワーがある



空港から外に出るといきなりこんな風景



タクシーでイオンに向かう

プノンペン道路は広い ラインは引かれていないが、片面3車線はある
両側の街路樹の大きさから、相当前から広い道路のようだ



シアヌーク通り こども広い通り

こんな建造物



フランス植民地時代の建物



タクシーで 40 分ほどで「イオンモール」に到着

ソフィテルホテルの隣ですぐに分かる



アジアの国々の小売業を見ることで重要なことは、その国の「人口」「GDP」「一人当たりGDP」

アセアン 10 カ国(一人当たりの GDP 高い順)

人口(万人) GDP(億ドル) 一人当たりの GDP(\$)の順

1. シンガポール	540	2,979	55,182
2. ブルネイ	41	161	39,659
3. マレーシア	2,995	3,132	10,457
4. タイ	6,823	3,873	5,676
5. インドネシア	24,795	8,703	3,510
6. フィリピン	9,748	2,721	2,791
7. ベトナム	8,969	1,706	1,902
8. ラオス	677	108	1,594
9. ミャンマー	6,595	568	1,113
10. カンボジア	1,509	155	1,028
ASEAN合計	62,592	24,104	3,851
日本(参考)	12,734	48,985	38,468

カンボジアの一人当たりの GDP はアセアン最下位

それを承知で出店しているのであるからかなりの先行投資

カンボジアの食品小売業

モダンストアの代表は「ラッキーマーケット」

スーパー業界のトップ3はラッキーマーケットグループ、ペンシル、バイヨンである

ラッキーが他を押さえ業界最大手である

スーパー業界は高品質の商品を集めることに注力しているが、ラッキーはオーガニック野菜なども安定供給できるように契約農家に委託栽培をさせており、一歩先をいっている

また独自のルートでの物流システムを持っているため、ローカル向けのマーケット等と比較しても、安い値段で高品質商品を販売している

ラッキーはマーケティングとして会員制度や、プロモーションなども常に行っている

https://www.jetro.go.jp/ext_images/jfile/report/07000731/kh_service.pdf より抜粋

私は、2012年と2013年に、プノンペンとシェリムアップを訪れ、「ラッキーマーケット」「ペンシル」「バイヨン」を視察しているが、近代的スーパーマーケットとしては「ラッキーマーケット」が群を抜いていた

プノンペン「ソシアショッピングセンター」(2012年8月視察)

オルセー市場の近くで、当時としてはプノンペン最大のショッピングセンターであった日本の古いGMSのようなイメージ



ラッキーマーケット

生鮮食品、デリカ、インスタアベーカーリー、スイーツまで揃えた近代的スーパーマーケット

スイーツ売場



市内の単独店



輸入品やオーガニック商品などを品揃えする富裕層をターゲットにした店

輸入品は国旗を付けて販売

日本製品もけっこう品揃えされている



シェリムアップの「ラッキーマーケット」(2013年11月視察)



外国人旅行者も多いため、輸入品や土産物が充実
生鮮食品の鮮度もよい

シェリムアップのコンビニのような小型店も登場
小型店でも店の前にショットガンを持った警備員



プノンペンの「ペンシルスーパーマーケット」



ドライ食品中心の品揃え

パラゴンショッピングセンター



中国系のようなスーパーマーケット

人口、市場は小さいが、外資 100%出資可能

カンボジアは他のアジア諸国と異なり、不動産の取得制限を除いて、外国人・外国企業に制限されている分野はなく、オープンな外資誘致政策を掲げている

従って、卸売業、小売業、運輸業も外資 100%出資による現地法人や支店の設立が可能となっている

カンボジア プノンペンの「イオン」



正式名称 イオンモールプノンペン

カンボジア、プノンペン#132, Street Sothearos, Sangkat Tonle Bassac
Khan Chamkarmon, (パサック川 ソフィテルホテル隣)

開業日 2014年(平成26年)6月30日

施設管理者 AEONMALL (CAMBODIA) CO., LTD

商業施設面積 68,000 m²

延床面積 108,000 m²

店舗数 AON と 190 の専門店

営業時間 専門店 9:00-21:00、レストラン街 10:00-22:00、シネマコンプレックス
9:00-24:00、イオンプノンペン店(1F 食品) 8:00-22:00、(2・3F) 9:00-22:00

駐車台数 約1400台

商圈人口 車20分圏 約18万世帯 約68万人

さらに、2015年8月「イオンモール カンボジア2号店」の出店計画を発表

バンコクから日帰りでプノンペンの「イオンモール」を視察する

東南アジアの「イオンモール」は、マレーシア、ベトナム、インドネシアと見てきたが、
カンボジア1号店はまだ見てないため、タイ訪問のついでに訪れる

ASEAN加盟国10カ国のうち、ラオス、ブルネイの2カ国を除き、残り8カ国のスーパー
マーケットを視察してきた

プノンペンのイオンモール

イオンモールはプノンペン最大の商業施設で、プノンペンのランドマークになっている

「現地化」はせず、日本文化を売りものに「独自化」を図っている

時間もないので、食品売場を中心に視察

店に着いたのは10時ごろ、まだ駐車場には車が少ない



そう思い店に近づくと、屋根の付いた駐車場は満車
暑い国だけに、屋根の付いたところに車を止めたがる

4階建ての商業施設



ベトナム、インドネシアパートナーの、デリカ、ベーカリーはレジアウトにレイアウトし、
フードコートになっている
カウンターで注文して、それを持ってテーブルで食べるスタイル



中島水産の寿司売場 相変わらず人気だ
開店時の売場とピーク時の売場



直営の食品売場



入口の催事場では、なんと「ひな祭り特集」（2月25日訪問）
カンボジアで「ひな祭り」は驚かされた
ここにも「日本文化の紹介」がされている

青果、鮮魚、精肉、チルド商品とレイアウトは日本と同じ
まだ開店したばかりなので、客は少ないが、売場は完成している



私が見る限り、日本を含めアジアナンバーワンの「RTC商品売場」
12尺以上を確保 売場に迫力があり圧倒される
東南アジアではこのスタイルの商品がよく売れる
日本の「鍋セット」ようなもので大型パックも品揃え





チルド売場

日本のような豆腐売場

納豆、生ちくわは冷凍で販売



冷凍うどん



冷蔵ケースは、こんにやくゼリーとジャンボゼリー

鮮魚の対面売場

うまくカーブを付けて、死角をつくらないようにしている体面売場



エイの子供



「SUKI (アジ科)」と「SHORT MACKERREL (サバ)」
同じように見えるが、違いは「スキ」にはアジと同じように「ゼイゴ」があること
東南アジアでは、アジ、サバをこのサイズでよく食べる

サーモン売場



肉の対面売場

インドネシアの店は、ここは「手づくり豆腐」のテナントであった



冷凍肉も品揃え



チルドの加工肉とデザート売場 ここも日本と変わらない



冷凍食品売場

片面は日本の冷凍食品メーカーの製品



日本メーカーの商品は、裏張りをせず、そのまま日本語で販売
しかし、トップバリーの冷凍弁当は見かけなかった



ロッテのアイスクリームも 日本のイオンにいるような錯覚を覚える
東南アジア最大の「PBトップバリュース売場」は見事！

両側のゴンドラがドライ食品 1ドルコーナーもある



ゴンドラ片面が菓子売場

合計ゴンドラ 3 本の品揃え

インドネシアでは、輸入規制があり大々的にはできないが、カンボジアは最大級の売場を確保



以前、ラッキーマートでお土産に買った木樽「ハチミツ」



カンボジアで日本人が栽培する倉田コシヨ一の「有機栽培コシヨ一」もスーパーマーケットではなかなか扱っていない商品 これも以前お土産で買った「オーガニックパームシュガー」



まだまだお土産用のものは沢山ある

弁当の販売も行っている



レジ前のフードコートで食事

奇妙な「ライスヌードル（米麺）」を見つける

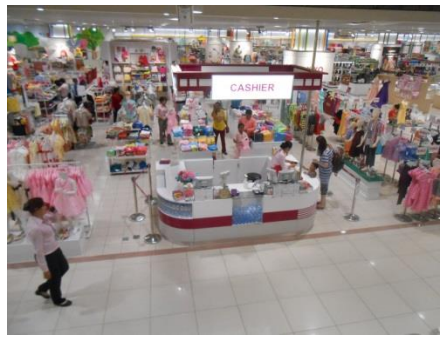


早速注文



よく見ると、米麺が「たたみイワシ」のようになっている
スープの絡みがよく味は最高であった

日本に1号店を出店した「KYOCHON」のカンボジア版「BONCHON」か



今年9月1日から、ANAが成田～プノンペン線が就航する予定です
観光客は、バンコク～アンコールワットのあるシェリムアップに直行していたため、プ
ンペンは素通りされていた

土産や日本が懐かしくなったら、ぜひ一度訪れたらいかがでしょう

夜7時半の便でバンコクに戻る
機内食のご飯は、白米と黒米



以上、カンボジア プノンペン特集でした